

ひと・くらしが輝く、ふれあいのまちへ

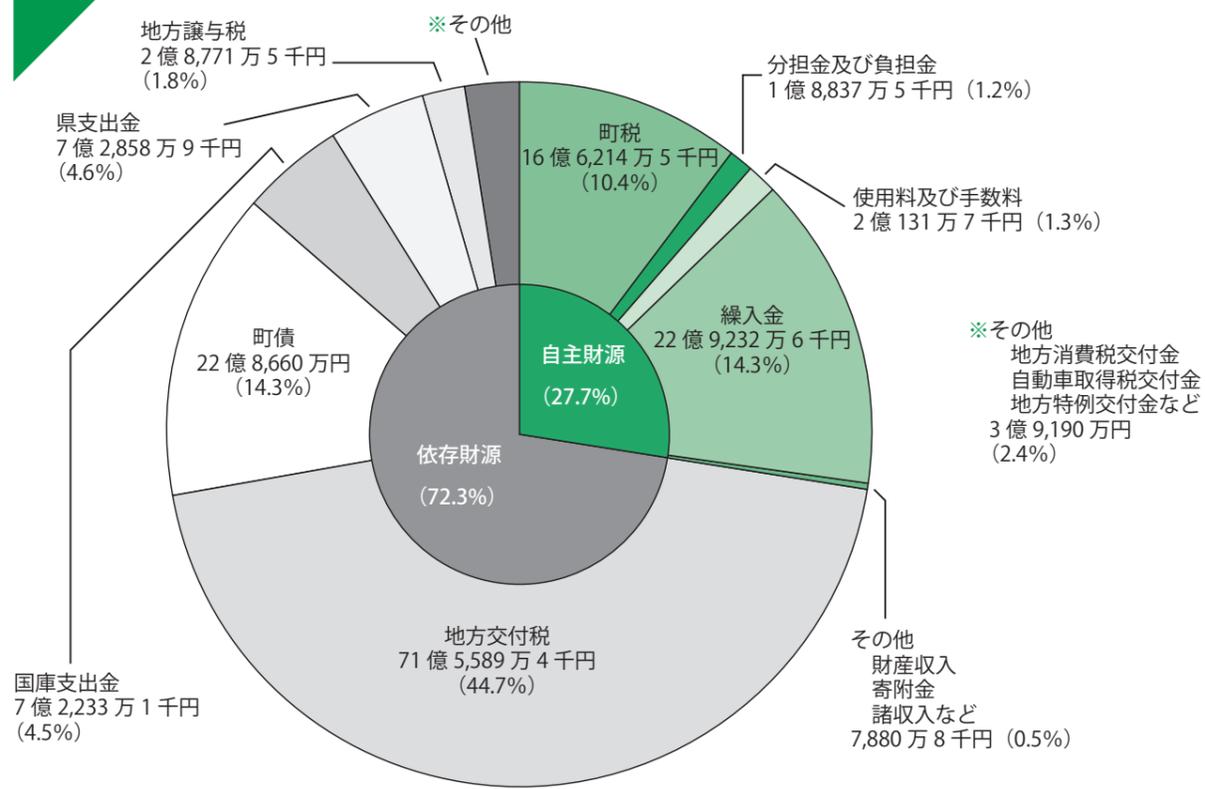
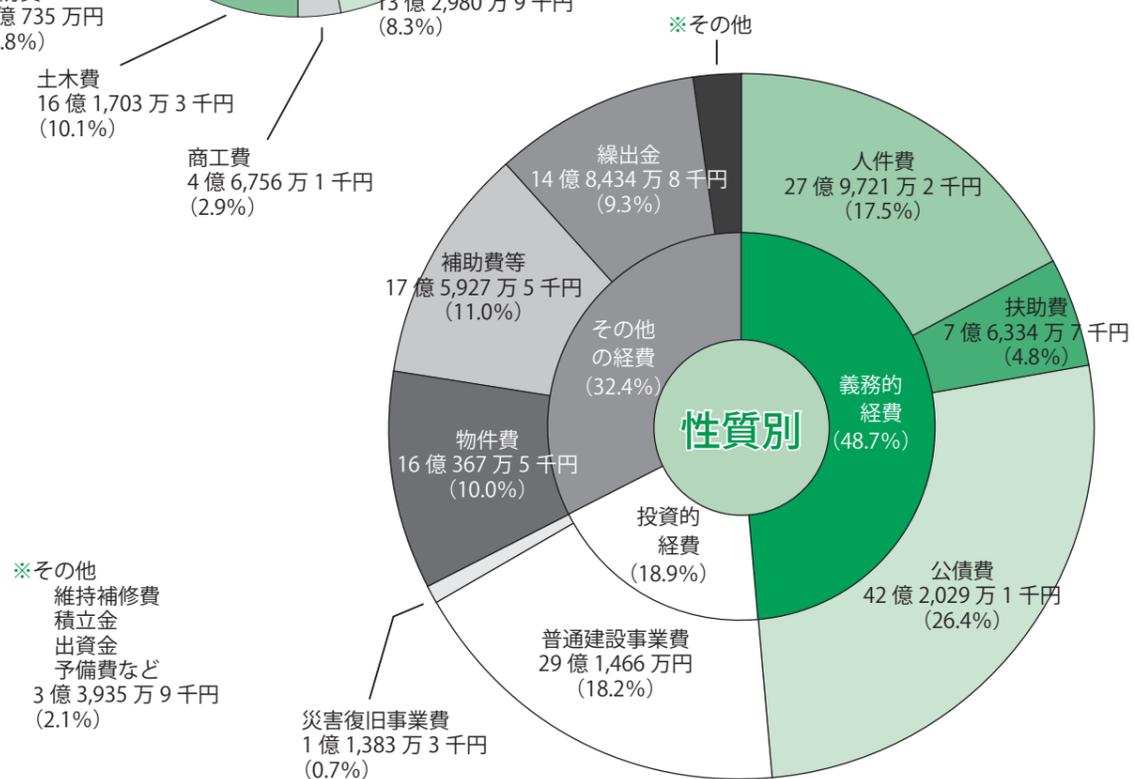
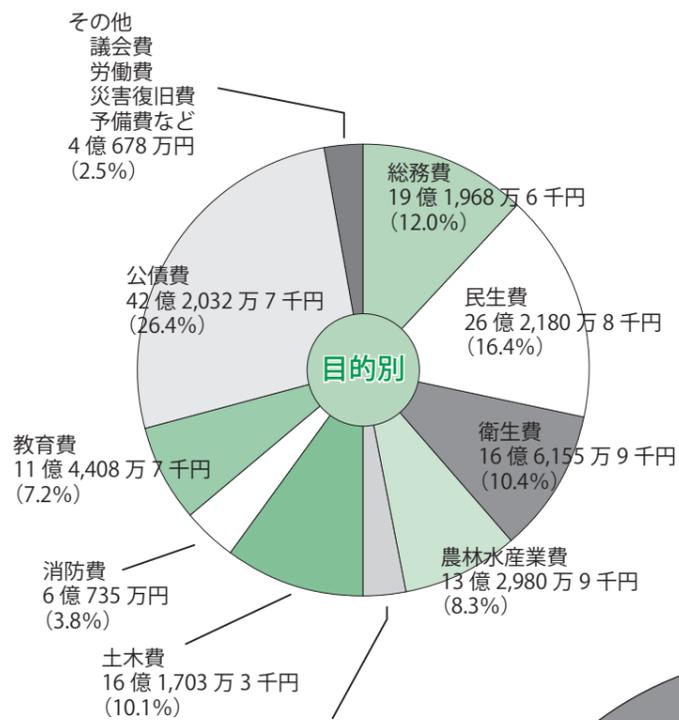
平成 17 年度予算総額 313 億 3,112 万 9 千円

能登町 まちづくり開始

一般会計 159 億 9,600 万円

歳出

歳入



◎歳出…義務的経費が48・7%

歳出を性質別で見ると人件費、扶助費、公債費の義務的経費が77億8085万円となり、歳出全体の48・7%を占めています。扶助費とは、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づき給付するものや町が独自に実施する各種扶助事業に要する経費です。公債費については、今後の財政運営の支障とならないように平成17年度において7億1245万6千円の繰上償還を実施することとしています。

経費の効果が後年度に及ぶ投資的経費は普通建設事業費と災害復旧事業費で総額30億2849万3千円となり18・9%を占めています。

賃金、需用費、委託料などの消費的な経費である物件費は16億367万5千円。一部事務組合への負担金や団体への補助金などの補助費等は17億5927万5千円。特別会計などへの繰出金は14億8434万8千円となっています。

厳しい財政状況の中で組まれた平成17年度予算は、合併後の行政サービスを一体的に提供することと将来に向けて行財政の安定化を第一に編成されました。

◎歳入…自主財源は27・7%

歳入は、皆さんが納める町税を16億6214万5千円見込み、歳入全体に占める割合は10・4%となっています。また町の基金から繰り入れる繰入金も22億9232万6千円を見込んでいます。町税や分担金・負担金、使用料や財産収入などの町が自ら収入できる自主財源は歳入全体の27・7%で44億2297万1千円となっています。

自主財源に対し、地方交付税や国庫および県支出金・町債などの依存財源は115億7302万9千円を見込み、歳入全体に占める割合は72・3%となっています。

歳入の中で一番大きいものは地方交付税です。これは、地方公共団体が等しく事務を遂行できるように一定の基準により国から交付される税で、平成17年度は71億5589万4千円が見込まれており、歳入全体に占める割合は44・7%となっています。国および県から交付される国庫・県支出金は14億5092万円を見込んでいます。町債は、道路や施設を整備するために借り入れるお金で、22億8660万円を見込んでいます。

そば打ちで美味しい体験!

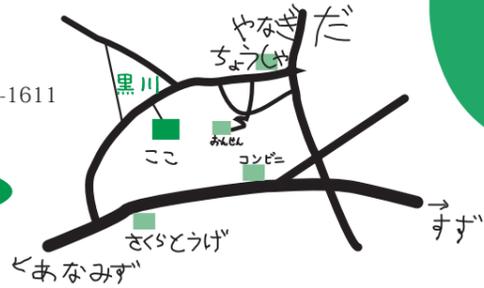
「セミナーハウス山びこ」編

- 定休日 年末年始
- 住所 黒川33号61番地
- 問い合わせ

（開）ふれあいの里公社「セミナーハウス山びこ」 ☎ 76-1611

ガーコ（み）
モットーは
「楽しければ
それでよし」

能登町 いいところ めぐり Vol.2



そば道場へ入門するぞお!



さまざまな体験ができる「セミナーハウス山びこ」。体験メニューのみでも、宿泊のみでも、食事のみでも、気軽に利用できるんだよ。

今回はセミナーハウス自慢の「そば道場」に入門! そば打ち体験を紹介しちゃいます!



いざ! そば道場へ!

そば道場で作った「そば」はおいしいと大評判! その日に作る分だけその日にそば粉を挽くんだよ。挽きたて・打ちたて・ゆでたてのそばの味は格別! ゴールめざしてまずはのと海洋深層水と挽きたてのそば粉を混ぜ合わせよう!



ひとまとめになったら、おいしいそばができるように一生懸命こねよう。麺棒で薄くのばした後は食べやすい太さに切って完成! ちなみにこの日は8食分のそばを約40分で作れたよ。



「そば道場の先生」そば打ち名人の徳田江津子さんにお話を聞きました!

そば打ち体験を通して印象に残っているエピソードはありますか?

「以前、子どもたちが薄くのばした生地を型で抜いて、食紅で色をつけてパンダなどの動物を作ってくれたことがありましたね。新しい発想だなあと感じました」

そば打ちの指導で大変なところはどこですか?

「作った方に試食してもらおう時においしい! と言ってもらえるように、きちんと指導してあげることに一番気をつけています」

町民の皆さんにセミナーハウスのPRを!

「人気のそば打ち体験は、お1人様からでもご予約いただけます。そば代(8人前)が2,100円、体験料が大人525円、小人315円となっています。他にもさまざまな体験メニューがありますので、ぜひ一度お越しください」

取材後記
今回からアヒルのガーコと一緒に能登町めぐりをスタートしました。今回は、そば打ち体験を通して、能登町の魅力を伝えることができました。そば打ち体験は、お1人様からでもご予約いただけます。そば代(8人前)が2,100円、体験料が大人525円、小人315円となっています。他にもさまざまな体験メニューがありますので、ぜひ一度お越しください。

能登町 まちづくり開始

特別会計とは、地方公共団体が特定目的の事業を行う場合に、特定の歳入を特定の歳出に充てて、一般会計と切り離して経理しているものです。能登町では国民健康保険や介護保険など10の特別会計があり、総額は112億5,569万5千円となっています。

また、公営企業法の適用を受ける事業会計として、水道事業会計と病院事業会計があります。公立宇出津総合病院が合併により町の運営となりました。特別会計、事業会計の総額は153億3,512万9千円となっています。

特別会計・水道事業会計・病院事業会計予算	
特別会計	112億5,569万5千円
通信サービス事業	4億467万1千円
国民健康保険	25億8,506万7千円
保険事業勘定	25億7,552万円
直営診療施設勘定	954万7千円
老人保健	35億1,665万4千円
介護保険	23億2,166万円
保険事業勘定	22億453万2千円
サービス事業勘定	1億1,712万8千円
観光施設	6,567万2千円
公共下水道事業	12億4,541万5千円
農業集落排水事業	5億6,757万3千円
漁業集落排水事業	1億6,601万4千円
浄化槽整備推進事業	3,278万円
簡易水道事業	3億5,018万9千円
水道事業会計	11億2,878万9千円
収益的支出	3億8,880万7千円
資本的支出	7億3,998万2千円
病院事業会計	29億5,064万5千円
収益的支出	27億4,992万4千円
資本的支出	2億72万1千円
合計	153億3,512万9千円

主な事業を『5つのまちづくり』で見よう!

1. 人づくりのまちづくり

松波小学校大規模改造事業 9,351万7千円
全日本学生ソフトテニス選手権大会事業 936万5千円

2. 福祉のまちづくり

障害者等支援費給付事業 1億8,791万1千円
老人福祉施設入所措置事業 1億3,261万7千円
心身障害者医療費助成事業 6,481万6千円
老人保健事業 3,060万7千円
介護予防・地域支え合い事業 2,082万7千円
予防接種事業 1,887万7千円
がん検診事業 1,576万6千円

3. 循環型のまちづくり

第2多目的交流センター整備事業 2億6,417万9千円
塵芥収集事業 1億2,442万2千円
合併処理浄化槽設置事業 655万9千円
ごみ袋・ごみステーション作成費 1,553万2千円
宇出津・小木・松波・恋路処理区整備事業 9億1,603万9千円

瑞穂処理区整備事業 1億1,171万円
羽根・小浦処理区整備事業 1億4,100万円

4. 産業活性化のまちづくり

総合農地開発事業 1億778万9千円
やすらぎ空間整備事業 5,315万円
ふるさと農道整備事業 4,500万円
農業用ダム建設事業 8,662万5千円
みなとまち水産加工振興事業 304万5千円
漁業生産基盤促進事業 290万8千円
海洋深層水振興事業 1,846万円
森林づくり交付金事業 3,505万円
林道整備事業 1億3,885万6千円
中山間地域直接支払交付事業 8,642万8千円

5. 交通・情報のまちづくり

新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業 2億7,760万8千円
町道橋りょう新設改良事業 6億2,586万2千円
まちづくり交付金事業 1億4,005万円
電子自治体推進事業 2億2,974万円
防災行政告知施設整備事業 1億1,800万円
新町通り線街路整備事業 5,038万9千円



近年、わが国の子どもをとりまく環境は大きく変わり、また少子化は一層進行しています。

能登町においても、少子化傾向が続いており、21世紀を担う子どもたちの健全育成や、わが国の将来の社会経済に大きな影響を与えることが懸念される中で、子どもたちを安心して生み育てることができるようになることは、地域づくりの基本であり町民の願いでもあります。

急速な少子化の進行や、次代の社会を担う子どもが健康やかに生まれ、育成される環境の整備を図るため、「能登町次世代育成支援行動計画」を策定しました。

この行動計画は、次世代育成支援対策について、地域における子育て支援や、親子の健康の確保、また教育環境の整備などについて、平成17年度を初年度とした5力年の施策の目標を定めた計画です。

基本理念



能登町では、次代を担う子どもたちが健康やかに生まれ、育成される環境づくりを目指して、行政、関係機関、住民の協働のもと地域が一体となつて、思いやりのあるたくましい子どもたちが育つまじづくりを目指します。

基本目標

① 地域における子育ての支援



子どもの幸せを第一に考えて、すべての子育てをしている人が安心して子育てができるよう、子どもの健全な成長を地域全体で見守れるさまざま

② 母性、乳児、幼児などの健康の確保と増進



すべての子どもの健康やかな成長の実現に向けて、妊娠前から継続した育児支援と育児不安の軽減、子どもの疾病の予防などを目的とした健康相談や保健指導の充実を図ります。また、思春期からの母性・父性の育成や親と子が健康やかに暮らすことができる地域づくりに取り組みます。さらに、思春期保健対策や児童虐待の発生予防などへの取り組みを充実していきます。

③ 子どもの心身の健康やかな成長に資する教育環境の整備



まな子育て支援サービスの充実を推進します。

子育て家庭が必要とする情報の提供や、地域における子育てネットワークの形成の促進など、地域資源の活用により家庭と地域の子育て力の向上に取り組めます。

④ 子育てを支援する生活環境の整備



次代の担い手である子どもが豊かな個性と感性を備え、調和のとれた人間として成長するために、さまざまな支援体制の充実に取り組みます。

学校・家庭・地域など地域資源のネットワークにより、子どもを生み育てることのできる喜びを実感できる仕組み作りを展開するとともに、子どもの未知なる可能性を教育や遊び、日常の暮らしの中で育む教育力を向上させます。

子どもと子育てを行う保護者が、安心・安全で快適な生

⑤ 職業生活と家庭生活との両立の推進



活を送れるよう、快適な居住空間や安心してのびのびと活動ができる都市空間を整備します。さらに安全・安心して外出することができ道路交通環境の整備を推進し、子育ての実態に配慮し、これを支援する総合的なまじづくりに取り組めます。

⑥ 子どもの安全の確保

仕事と子育ての両立支援や、子育て中の家庭の負担軽減を図るため、男性を含めた働き方や就業体制を見直し、男女がお互いに協力し合いながら子育てを行える働きやすい環境を整備します。

さらに国、県、事業主、関係団体と連携を図りながら広報・啓発活動を推進します。

核家族化や都市化の進行に伴い、隣近所との関わりは以前より薄まり、また犯罪の増加、凶悪化など、子どもを取

⑦ 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進



り巻く環境は悪化し、子どもの安全は脅かされています。子どもを危険から守り、安全を確保するために、関係機関と連携した活動を推進し、子どもの一人歩きに不安を感じなくてもすむまじづくりに取り組めます。

児童虐待の防止対策や母子家庭などへの自立支援、障害児への支援を必要とする家庭や子どもに対して、充実した支援体制を整備するとともに、こうした状況に置かれた家庭や子どもへの無理解・無関心を根絶し、安心して生活できる地域環境づくりを推進します。

「能登町次世代育成支援行動計画」についての詳しい資料は、健康福祉課、能都総合サービス課、柳田総合サービス課でご覧いただけます。

7月10日(日)は、

能登町農業委員会委員選挙の投票日です

土地と人 守る農委の 知恵と汗

任期満了に伴う能登町農業委員会委員選挙(定数15人:第1選挙区・旧能都町5人、第2選挙区・旧柳田村5人、第3選挙区・旧内浦町5人)が7月10日(日)に予定されています。
有権者のみなさんは棄権せず、一人ひとりが自分の判断で貴重な一票を投じましょう。

◆投票時間

午前7時～午後4時

◆有権者について

能登町農業委員会委員選挙人名簿に登録された方で、投票日当日能登町の各選挙区に住所を有する方。

◆期日前投票

- 期間…7月6日(水)～9日(土)
- 時間…午前8時30分～午後8時
- 取扱場所
- 第1選挙区
能都庁舎2階 202会議室
- 第2選挙区
柳田庁舎1階 事務室
- 第3選挙区
内浦庁舎1階 ロビー

◆選挙区について

今回新たに設けられた選挙区とは、能登町を旧町村単位で区域分けしたものです。有権者のみなさんは、自分の住んでいる区域の中で立候補した候補者から、だれが望ましいかを選び、その人の名前を投票用紙に書き込んで投票します。

◆問い合わせ

能登町選挙管理委員会
☎62-8510

〈投票所および地区一覧〉

選挙区	投票区	投票所名称	地区名
第1選挙区 (旧能都町)	第1	能都庁舎 3階研修室	宇出津・高倉・三波地区
	第2	神野保育所 遊戯室	神野地区
	第3	鶴川保育所 遊戯室	鶴川地区
	第4	瑞穂公民館 和室	瑞穂・宮地地区
第2選挙区 (旧柳田村)	第5	柳田体育館	柳田地区
	第6	小間生公民館 会議室	小間生地区
	第7	上町生活改善センター 和室	上町地区
	第8	岩井戸公民館 会議室	岩井戸地区
第3選挙区 (旧内浦町)	第9	内浦福祉センター 1階集会場	松波地区
	第10	不動寺公民館 集会室	不動寺地区
	第11	秋吉公民館 集会室	秋吉地区
	第12	白丸保育所 遊戯室	白丸地区
	第13	小木地区活性化センター ロビー	小木地区

助役・収入役 決まる

第2回議会定例会最終日の6月24日、持木町長から助役の選任について、収入役の選任についての人事案件2件が提出されました。
議案は同意されて能登町の助役・収入役が決まりました。

任期は6月24日から4年間となっています。

助役の選任について

山元淳一
(62歳・九里川尻)

収入役の選任について

新谷久守
(59歳・笹川)

日ごろの尽力と 功績に対し

～平成17年度能登町消防団表彰～

6月25日に行われた「第1回能登町消防団訓練大会」において次のみなさんが表彰を受けました。

◆石川県知事表彰

銀杯を授与する表彰

- ・堂間富男(不動寺分団・部長)
- ・柳瀬隆憲(上町分団・部長)
- ・藪下正博(白丸分団・部長)
- ・南 正一(山田分団・班長)
- ・松木松雄(山田分団・団員)

◆石川県消防協会長表彰

優良消防団表彰

- ・山田分団
- ・不動寺分団
- 功績章
- ・清坐忠雄(消防団本部・副団長)
- ・井上 清(柳田分団・分団長)
- ・山岸信夫(白丸分団・分団長)

功績章

- ・向峠茂人(岩井戸分団・分団長)
- ・菅原圭一(松波分団・分団長)
- ・橋本 渡(上町分団・分団長)
- 勤続功績章
- ・金七祐太郎(松波分団・班長)
- ・杉本知夫(小木分団・班長)
- ・平 康治(上町分団・班長)
- ・上井久男(小間生分団・班長)
- ・下田 豊(神野分団・団員)
- ・池崎高裕(柳田分団・団員)
- ・中下英幸(不動寺分団・団員)
- ・谷内一郎(柳田分団・団員)
- ・高出充彦(鶴川分団・団員)
- ・畑中信幸(三波分団・団員)

◆能登町長表彰

退職団員感謝状

- ・坂森良伸(白丸分団・団員)
- ・元 正昭(鶴川分団・団員)
- ・吉中伸一(山田分団・団員)
- 退職団員感謝状
- ・本谷正治(元能登町消防団消防団本部・団長)
- ・井上美代次(元浦町消防団消防団本部・団長)
- ・小林一雄(元能登町消防団消防団本部・副団長)
- ・田中時孝(元内浦町消防団消防団本部・副団長)
- ・平 紀明(元柳田村消防団消防団本部・副団長)
- ・赤田一男(元柳田村消防団消防団本部・副団長)
- ・笠原光雄(元能登町消防団宇出津第1分団・分団長)
- ・柳瀬 衛(元能登町消防団柳田分団・副分団長)
- ・石崎芳浩(元能登町消防団小木分団・副分団長)
- ・川崎孝裕(元能登町消防団宇出津第1分団・部長)
- ・田中健治(元能登町消防団小木分団・班長)
- 消防団員雇用事業所感謝状
- ・(財)ふれあいの里公社
- ・特別養護老人ホーム第二長寿園
- ・(有)新谷板金工作所

◆能登町消防団長表彰

勤続功績章

- ・山本祐圓(不動寺分団・団員)
- ・堂前利昭(小間生分団・団員)
- ・松島徳造(小間生分団・団員)
- ・谷中栄俊(小間生分団・団員)
- ・奥野和明(小間生分団・団員)
- ・鳥越彰史(小間生分団・団員)
- ・中平清一郎(松波分団・団員)
- ・横山博一(松波分団・団員)
- ・大豊 太(松波分団・団員)
- ・影田秀行(岩井戸分団・団員)
- ・向峠浩史(岩井戸分団・団員)
- ・水上 崇(宇出津第2分団・団員)
- ・町端健一郎(宇出津第2分団・団員)
- ・松村考治(宇出津第2分団・団員)
- ・川端秀豪(宇出津第2分団・団員)
- ・干場一浩(小木分団・団員)
- ・釣谷一義(小木分団・団員)
- ・安田 潮(鶴川分団・団員)
- ・竹口太郎(鶴川分団・団員)
- ・上谷浩之(鶴川分団・団員)
- ・大谷内敏和(高倉分団・団員)
- ・佐藤嘉久(高倉分団・団員)
- ・平田大輔(高倉分団・団員)
- ・山谷聡司(三波分団・団員)
- ・竹下浩市(三波分団・団員)
- ・田辺直樹(三波分団・団員)
- ・橋本 章(不動寺分団・団員)
- ・柴野立太(神野分団・団員)
- ・羽毛克彦(神野分団・団員)
- ・野田俊之(宇出津第1分団・団員)
- ・牛岩泰祐(宇出津第1分団・団員)
- ・山口竜次郎(秋吉分団・団員)
- ・坂下 晃(秋吉分団・団員)
- ・山本明人(上町分団・団員)
- ・東又澄夫(上町分団・団員)

地域の相談役として

▶賞状を受け取る谷屋さん、
ありがとうございます
21年間



民 生児童委員に対する厚生労働大臣特別表彰の伝達式が5月25日、能都庁舎応接室で行われました。民生児童委員として21年間、地域の社会福祉増進に寄与したことをたたえ、向武雄さん（桐畑）と谷屋敏子さん（黒川）の2人が表彰されました。持木町長から賞状を手渡された谷屋さんは「人のお世話が好きでこれまで努めさせていただきました。ありがとうございます」と感謝の気持ちを述べていました。また今回、伝達式に出席できなかった向さんからは「地域の人からのあたたかい一言のおかげで続けてこれました」との感謝の言葉が手紙で寄せられました。

お巡りさんと指きりげんまん！

▶みぎ見て、ひだり見て、もう一度みぎを見て、手を上げて渡りましょう！



幼 交通安全教室が5月18日、内浦保育所の3～5歳児を対象に行われました。園児たちは県警本部からやってきた信号のお姉さんたちと一緒に、交通ルールを題材にした簡単なクイズや、信号機の見方、横断歩道の渡り方などについて学びました。

教室に参加したすみれ組の橋本真琴ちゃん（6歳）は、「お散歩のときも車来ないかちゃんと見てるよ」と話し、道路を横断するときには左右の確認をする時は、目だけではなく、顔を動かしてキチンと確認することを練習しました。園児のみんな、お巡りさんとお約束をしっかり守りましょうね。

『夢』は抱き続ければきっとかなう！



▲野手陣は掛布さんから指導を受けました。打撃練習の前に、基本的な考えや、練習の方法などをわかりやすく話をしてくれました

バッテリー陣は、工藤さんから丁寧な指導を受けました。一人ひとり投球フォームなどをチェックしてもらい、ピッチングの基本を学んでいました▶

野球の基本はキャッチボール。掛布さんは「キャッチボールを大切にするように」と選手に声をかけていました▼



≡ スタータイガース、掛布雅之さんの少年野球教室が6月12日、柳田野球場で開かれました。昨年11月、旧能都町で講演した掛布さんは、能登町での野球教室開催を約束し、今回の教室が実現しました。元阪神投手の工藤一彦さんも講師を務めた教室には、町内の学童野球5チームと南砺市の福野スポーツ少年団、併せて約130人が参加しました。掛布さんと工藤さんは、投球、捕球、打撃などの基本を冗談を交えながらわかりやすく指導し、子どもたちも真剣に話を聞いていました。選手代表の平諒生くん（柳田小6年）は「能登町からプロ野球選手が誕生するのを楽しみにしててください」とお礼の言葉を述べました。

優れた人材を発掘します！



▲委嘱を受けた相談員のみなさん

自 衛官募集相談員の委嘱状交付式が5月25日、能都庁舎応接室で行われました。委嘱を受けた8人の相談員は、自衛官の入隊希望者の相談やアドバイス、志願者に対する情報提供などを行います。持木町長からは「能登町から人材を発掘して地域の架け橋となってください」と激励の言葉が送られました。委嘱された相談員は次の方々です。

- ・井高吉孝さん（上）・又多小夜子さん（布浦）
- ・今井世紀子さん（小木）・表口里司さん（笹川）
- ・垣口孝範さん（神和住）・川端道子さん（宇出津）
- ・従二喜一さん（宇出津）・川端登喜夫さん（宇出津）

地域の子どもは地域が守る！



▲当初は月2回パトロールを実施

鵜 川地区自主防犯組織「うかわっ子を守る会」が、5月26日に発足しました。能登警察署管内で初の発足となるこの組織は、児童、生徒の事件・事故の未然防止を図るため、鵜川駐在所、防犯委員、小中学校、公民館が中心となって設立されました。出発式では、副会長の米田公民館長が、「地域の子どもを地域が守り、事件を予防しましょう」とあいさつし、野竹能登署長が「最近の状況を考えるととても心強い活動です」と激励しました。出発式終了後、小中学校の通学路で下校中の生徒に声をかけ、安全を見守りました。今後も通学路のパトロールと声かけを実施していきます。

互いを認め合い、ともに生きる

▶開所10周年を祝おうと多くの人が会場を訪れました



5月29日、知的障害者や精神障害者の自立を支援する、しらすぎ作業所とさくら工房の開所10周年記念式典が能都庁舎で行われました。式典では両施設に多大な貢献をされた8人の方々に感謝状が贈られました。また、羽咋市の社会福祉協議会を拠点として地域福祉の推進活動を行っている方々を招き講演会が開かれました。自身も障害者である講師の後石原幸守さんは「心には五体満足の自分と障害者である自分の二人が存在します。障害といいようにつきあっていくことが大切なんです」と障害についての理解を深めて欲しいと客席に呼びかけていました。

ちびっ子力士が活躍!

▶相手のもろ差しに対し腰を落とす見事寄り切った木谷稔くん



第20回石川県少年相撲能登大会が、5月22日に内浦相撲場で行われ、県内各地から約100人のちびっ子力士が参加し熱戦を繰り広げました。この大会は今まで内浦大会として開催されていましたが、20回目という節目の大会に能登町での開催となり能登大会となりました。

地元能登町からは、能登町相撲教室と小木相撲スポーツ少年団の14人が出場しました。団体戦では能登町Aチームが決勝トーナメント1回戦で敗退しましたが、個人戦では6年生の部で木谷稔くん(松波小)が3位に入賞しました。

能都と福野、合併しても続く交流

▶去年とは違うシュートを見ろ!



最後のお別れ会では福野支部を代表して嶋田有佑くん(6年)が「スポーツで友情を深めることができました、来年は福野で会いましょう」と別れの言葉を述べました。これに応じて能都支部を代表して得田敦博くん(6年)が「楽しい思い出を友だちに教えてスポーツ少年団の輪をひろげましょう」とあいさつしました。団員たちは大人になっても思い出せるような貴重な体験ができたのではないのでしょうか。

互いの町を交互に行き来し、今年で17回目となった富山県福野支部と能都支部のスポーツ少年団交流会が5月28日・29日の両日、のとスポーツピアツツアをメイン会場に開催されました。28日には各種目別交流会が行われ、それぞれの競技を通して交流を深めました。福野町の団員たちは能都支部の各団員たちの家でホームステイをした後、翌29日の全体交流会には両団員合わせて224人が参加してキックベースボールを楽しみました。



▲来年は福野へ泊まりにいくぞ!

アユが育つきれいな川にしてね!

▶慎重に川へアユを放す子どもたち



瑞穂保育所の園児9人が6月7日、山田川でアユの稚魚を放流しました。この放流は、河川環境保全や魚資源の保護のために毎年行われているもので、梶川、寺田川、山田川で稚アユ約3万匹が放流されました。山田川での放流作業に参加した園児たちはアユ友の会の皆さんと一緒に、体長10センチほどに育った生後半の稚魚を小さなバケツに入れて「アユさん元気で大きくなってね!」と声をかけながら川へ放っていました。

琵琶湖からやってきた小さなアユたちが、能登町の川で立派に成長できるといいですね。

心を癒す音楽の会

▶出演者と観客が一体となったすばらしいコンサートでした



能登町音楽愛好会が主催するプロムナードコンサートが6月5日、能都庁舎4階ホールで開催されました。地元で楽しい音楽会を開こうと音楽愛好家らが始めたコンサートは今年で26回目を数えました。この日は7組が参加してさまざまなジャンルの音楽を披露しました。

コンサートの最後には、出演者が合同で演奏し、恒例となっている「翼をください」を合唱しました。合併して初めてのコンサートにはたくさんの方が訪れ、出演者も観客も一緒に音楽を楽しんだ一日となりました。

能登町のきれいな海岸線を取り戻せ!

▶「チッ」ミあるげな



羽根海岸では開会式が行われ、集まった約200人が用意された袋を手に海岸の清掃を始めました。海岸には流木や海草などの漂着物だけでなくタイヤや空き缶など大量のゴミが捨てられていました。参加者は、いっぱいになった袋を次々と運び、また重い流木などはみんなで力を合わせて運んだりして1時間余りできれいな海岸線を取り戻しました。きれいになった海岸を眺めている参加者からは、羽根海岸が今年から公営海水浴場ではなくなることを残念がる人もいました。

海岸線や河川周辺をきれいにする活動「クリーンビーチ・クリーンリバー in のと」が5月29日に町内各地で行われました。石川のきれいな海岸線を守ろうと県内の各市町で実施されている「クリーンビーチ石川」は今年で10回目を数えました。この日は早朝にもかかわらず各地区で約1,800人のボランティアが清掃に参加し、能登町自慢の海岸線や河川周辺の清掃を行いました。



▲重い大きなゴミはみんなで力を合わせて